

明治学院大学社会学部附属研究所主催
ひきこもりなど生きづらさのある当事者・経験者とともに
支援の在りかたを考える連続学習会第1回開催報告

2024.1

明治学院大学社会学部附属研究所 相談・研究部門

ひきこもりなど生きづらさのある当事者・経験者とともに支援の在りかたを考える連続学習会第1回は、ひきこもりの経験者であり、当事者・経験者をサポートされてこられた丸山さん、割田さんに話題提供をしていただきました。18名がご参加されました。

◇開催概要

日時: 2024年1月19日(金) 15:00~16:40(100分)

場所: 明治学院大学社会学部附属研究所多目的ルーム

ゲスト:

- ・丸山康彦さん(不登校・ひきこもり相談室「ヒューマン・スタジオ」代表兼相談員)
- ・割田大悟さん(ひきこもり当事者グループ「ひき桜」in横浜代表)

プログラム: ゲストによる話題提供の後、ペアで語り合いを実施、全体で共有後、ゲストによるコメント

◇連続学習会概要

連続学習会では、丸山さん、割田さんに30分程度ずつ話題提供をしていただきました。多くのことを語っていただきましたが、丸山さんからは、「社会から離れているから戻す」という発想に立つ支援では、本人の葛藤や模索が無視される可能性があること、そして支援だけでなく非支援の場や人間関係の重要性などをお話いただきました。また、割田さんからは、本人に生きづらさがあるかどうか無しに、ひきこもっていることだけで支援するというのは怖いことだというお話がありました。支援が、ひきこもっている本人を苦しめることがないように、これからの支援や社会の在りかたについて引き続き考えて参ります。

◇今後の予定

次回の第2回は、3月15日(金)を予定しています。生きづらさを抱える当事者の居場所「からふらっと」サポーターのすみれさん、参加者のまいさんにお越しいただく予定です。

